

市政に関する一般質問通告一覧

令和2年第1回半田市議会定例会

【日程】※日時は予定です。

日	時	質 問 議 員
3月2日(月)	午前9時30分～	1. 伊藤正興(創造みらい半田)
		2. 坂井美穂(公明党)
	午後1時00分～	3. 小出義一(志民ネット)
		4. 加藤美幸(維新・半田市民の会)
		5. 水野尚美(創造みらい半田)
3月3日(火)	午後1時00分～	6. 竹内功治(維新・半田市民の会)
		7. 岩田玲子(創造みらい半田)
		8. 芳金秀展(創造みらい半田)

3月2日(月) 午前9時30分～

1. 10番議員 伊藤正興(創造みらい半田) 【一問一答】

1 観光振興について問う

(1) 観光の現状について

- ①平成27年度に観光元年を宣言してから、半田市の観光は、どのように変化したかお尋ねします。具体的にお答えください
- ②半田の観光は大型イベントの集客力がありますが、通年で観光客が呼び込めていません。その要因をどのように分析していますか
- ③観光PRには、メディアやSNSを活用した広報活動が重要と認識していますが、半田市としてどのような戦略を立てて実施していますか
- ④平成27年度以降、観光入込客数の推移を教えてください。また、観光客による経済効果は、具体的にいくらか試算しているかお答えください
- ⑤今後、半田の観光を更に充実するには、新たな起爆剤が必要と考えます。山車・蔵・南吉・赤レンガの次に何を考えていますか

(2) インバウンド需要の取り組みについて

- ①半田市を訪れる外国人観光客の現状を伺います。具体的にお答えください
- ②外国人への観光に関する情報発信やPR活動は、どのように行っているかお答えください
- ③外国人観光客に、半田の街へ立ち寄ってもらう為、半田市が取り組んでいることをお尋ねします
- ④セントレアの外国人観光客を半田に誘致するには、知多バス半田・常滑線の活用が必須だと思いますが、どのようにお考えですか
- ⑤今回、新たな試みとして、セントレアから知多半田駅までのバス利用者への割引制度

を提案しますが、見解を伺います

(3) 今後の観光戦略について

- ①来月4月には、観光元年から6年目の年を迎えます。これまでの状況を踏まえ、今後の半田の目指す観光についてお尋ねいたします。具体的な計画や目標等があれば教えてください

2. 12番議員 坂井美穂 (公明党) 【一問一答】

1 家族が亡くなられた際の手続きの「ワンストップ化」による遺族の体力的、時間的な負担を減らす取組みについて

(1) 家族が亡くなられた際の手続きについて

- ①家族が亡くなられた際の手続きは、亡くなった方により必要な手続きが異なり、その内容は多岐にわたりますが、現状、遺族が市役所で行う手続きにはどのような手続きが必要で、それぞれの窓口はどこになりますか
- ②半田市における死亡届出は年間約1,100件で、毎月100件程の手続きが発生していますが、現状、遺族が市役所で行う手続きにかかる時間はどれくらいですか

(2) 遺族の体力的、時間的な負担を減らす取組みについて

- ①松阪市では死亡に伴う手続きを包括的に受付・案内・相談できる窓口「おくやみコーナー」を設置することで、市民の満足度が向上しています。半田市においても市民サービスの向上のため、「おくやみコーナー」を設置するべきであると思いますが、この点についてどのように考えますか
- ②市役所で行う手続きだけでなく、市役所以外で行う手続きについても遺族に案内を行うべきであると思いますが、この点についてどのように考えますか

3月2日(月) 午後1時00分～

3. 4番議員 小出義一 (志民ネット) 【一問一答】

1 子ども・子育て支援事業計画に基づく施策について

(1) 第1期事業計画を振り返って

- ①施設整備の成果と課題をどのように捉えているか
- ②子育てに関するサービスの成果と課題について、どのように捉えているか

(2) 第2期事業計画策定にあたって

- ①女性の社会進出の現状と子育て支援のニーズの変化をどのように捉えているか
- ②子育てを手助けする親族・友人の減少など社会環境の変化をどのように捉えているか
- ③保育の無償化に伴うニーズの変化をどのように捉えているか

(3) 第2期事業計画の課題と対策について

- ①子育てを手助けする親族・友人の減少への対策はどのように考えているか
- ②0～2才児保育のニーズ把握と対策はどのようですか
- ③休日保育のニーズ把握と対策はどのようですか
- ④放課後児童健全育成事業へのニーズ把握と対策はどのようですか

4. 14番議員 加藤美幸（維新・半田市民の会） 【一問一答】

1 妊娠期から18歳まで身近な地域で安心と信頼の子育て支援体制づくりを

- (1) すべての子育て家庭を包括的に見守り、状況把握から早期に適切な支援へつなぐ「半田市版ネウボラ」である子育て世代包括支援センターが身近になるよう改善すべきである
- ①第2期半田市子ども・子育て支援事業計画案で、中学校区に設置される子育て支援拠点の役割は何ですか。また、子育て世代包括支援センターとの違いは何ですか
 - ②子育て世代包括支援センターの機能を身近な地域子育て支援拠点に持たせることが、産後うつや虐待の発見・予防につながると考えますが、半田市の見解はいかがですか
 - ③18歳までのすべての子育て世帯への公平な支援として、丁寧な面談や訪問相談の機会が必要と考えますが、見解を伺います
 - ④乳児期の支援として、母子の健康や子育て環境を専門的な目で確認し、相談や支援をする体制を整えるべきと考えますが、見解を伺います
 - ⑤地域と子育て支援拠点が連携協力し、子どもの成長を見守る体制を作るべきと考えますがいかがですか
 - ⑥母子健康手帳交付は初めて専門職員と接することができる貴重な機会です。現在の交付時の面談内容や時間などはどのようなようですか
 - ⑦妊娠中から出産後の仕事復帰や保育相談などの対応窓口はどこですか

5. 8番議員 水野尚美（創造みらい半田） 【一問一答】

1 成人式について問う

(1) 成人式の開催・運営について

- ①成人式を開催している目的は何ですか
- ②新成人が主体となって実行委員会を立ち上げ、運営しているメリットは何ですか
- ③現在行われている成人式の開催・運営について、課題はありますか
- ④行政が主体となって開催する考えはありますか

(2) 今後のあり方について

- ①祝う対象年齢を今後も変更する予定はありますか
- ②中学校区別の開催を希望する声がありますが、いかがお考えですか
- ③今後の開催について、検討会を設置するなど見直しが必要だと思いますが、いかがお考えですか

2 下水道事業について問う

(1) 子どもに関わる事業について

- ①下水道事業を子どもたちにどの様に伝えていきますか
- ②半田市ホームページ、「下水道キッズ」の掲載目的は何ですか
- ③半田市への愛着を高めるためにも、マンホールの蓋に子どものデザインを使う考えはありますか

3月3日（水）午後1時00分～

6. 16番議員 竹内 功治 (維新・半田市民の会) 【一問一答】

1 子どもへの季節性インフルエンザに対する取組みについて

(1) 子どもへの季節性インフルエンザの対応や対策について

- ① 昨年の秋以降、季節性インフルエンザに感染した幼児・児童生徒数は何名ですか。また過去3年をさかのぼり、感染者の推移はどのようになっていますか
- ② 毎年、幼児・児童生徒が感染し、学級・学年閉鎖が起きていますが、どのような対策を行っているのですか
- ③ 毎年、多くの幼児・児童生徒が感染している現状を、どのように考えていますか
- ④ 全体、もしくは低年齢児や特定の学年を中心に、予防接種の補助を行うべきではないですか
- ⑤ 子どもの感染者を減らすように、何か新しい対策を考えていますか

7. 18番議員 岩田 玲子 (創造みらい半田) 【一問一答】

1 ごみステーションについての諸問題を解決しよう

(1) 自治区だけでは解決できない、ごみがあふれてしまうごみステーションの諸問題について

- ① ごみステーションを大きく、又は新設することで、解決できる箇所が多くあります。しかし、造成が必要なことも多く、費用がないために諦めなければならない未解決ごみステーションが多く存在しています。ごみステーションに応じた造成を行って頂く考えはありますか
- ② ごみステーションのごみが溢れてしまう理由の1つに、平成5年以前に建設された大型マンションに、設置義務がないために、ごみステーションの設置されていないマンションもあることが挙げられます。現在、半田市では、4戸以上の集合住宅にはステーション設置義務があり、とても便利できれいに保たれておりますが、平成5年以前に建てられた大型マンションにも、ごみステーションを設置していただけるよう取り組む考えはありますか

(2) 使い易いごみステーションにしていくために

- ① ごみ出しマナーや、掃除当番等の問題で悩んでいる市民が沢山います。ごみステーションをきれいに使うための取り組みを実施している地区もありますが、それを知る機会が少ないと思います。便利で使い易いごみステーションにするため、他地区の取り組みを紹介するなど、アイデアやヒントを自治区や市民に更なる情報提供をして頂く考えはありますか

8. 6番議員 芳金 秀展 (創造みらい半田) 【一問一答】

1 半田市役所における、働きやすい・働きがいのある組織づくり

(1) 働きやすい環境づくりについて

- ① 女性の育児休業、育児休暇は高いが男性の取得率が低いことに対して当局の見解を伺います
- ② 休暇制度の利用プロセスについて、部署を超えて相談できる先輩職員を配置するメンター制度などを活用し環境づくりに配慮すべきと考えますが見解を伺います

③面談時に「育休復帰プランシート」「仕事と介護両立支援プランシート」などツールを使って情報を共有すべきだと考えますが見解を伺います

(2) 職員研修について

①来年度、予定されている 20 代から 30 代の男性職員に対する育児休業取得支援研修について、管理職にもより重点的に実施するべきと考えますが見解を伺います

②キャリアデザイン研修を現在の 10 年目以降に実施するものに加え、3 年目までの新入職員向けのキャリアアップ研修を行うべきと考えますが見解を伺います

③管理職研修において、ダイバーシティマネジメントの手法についての研修も内容に盛り込むべきと考えますが見解を伺います